



受け継ごう日本！伝統文化（6年生）

6年生の総合的な学習の時間では、日本の伝統文化について学習をしました。

6月30日（月）に、茶道、剣道、華道、相撲の4つの伝統文化について講師を招いて、体験活動を行いました。どれも、日本に古くからある文化で、剣道や相撲はスポーツとしても定着しています。子どもたちの感想にもありますが、これらに共通するのは、礼儀や作法、形式美などではないでしょうか。感謝や思いやりの心をもつことの大切さや立ち居振る舞いの美しさを、子どもたちは感じたのではないかと思います。「見た目よりも中身が大切」であることはもっともですが、見た目がどうでもよいということにはなりません。また、派手な振る舞いは目を引きませんが、時には落ち着いたたたずまいというものも身に付けたいものです。

自分の国の文化を語ることが、「教養」にもつながります。他にもたくさんある日本の伝統文化に目を向けて、日本のよさを感じてほしいと思います。それと同時に、他国にも日本とは違う文化があることを知って、それらを互いに認め合うことができることによりよいと考えています。

【学習後の子どもたちの感想】

☞ 茶道を体験して、礼儀を学び、6年間の中で一番心に残りました。家でも、お茶をいただく機会があれば、体験したことを思い出して、お茶をいただきたいです。和菓子を先に食べて、お茶を茶筌で泡が小さく滑らかになるまで立てて、右手でお茶を取って、左手を置き、時計回りに2回まわしていただくということを、家でもしたいです。そして、お茶をいただく際には、いつもお茶から和菓子の順でいただいていたので、和菓子の甘みを楽しんだ後に、少し苦いお茶を飲んで口の中のバランスがよくなるようにしたいです。京都では、外国の人が茶道に興味をもってしていると聞いたので、私が京都に行く機会があれば、京都のお茶をいただいて、茶道体験を思い出して、外国の人との仲を深めたいです。



☞ 僕は剣道を体験して、相手に対しての礼儀を大切にすることを学びました。剣道は、一本取った後にガッツポーズなどをしたら得点を取り消されると聞いて驚きました。普通、スポーツは勝った方がよい、点を取るのが一番、という感じがあったけ



れど、剣道は、相手に対しての礼儀と勝つことが同じくらい大切だということが分かりました。竹刀で面や小手をするのが楽しかったです。みんなが分かりやすいように、楽しく教えてくださったので、理解することができました。スポーツとしても面白くて、相手がどのように動くかによって、自分の動き方を考えるのも面白そうでした。剣道は、礼儀や作法を大切にすることが分かりました。講師の先生、忙しい中、剣道のよさや作法を分かりやすく楽しく教えていただきありがとうございました。

📌 私は、華道を体験しました。花は、花もの、枝もの、葉ものなどがあることが分かりました。華道は、剣山というものに花を自分が思うようにさす伝統文化で、花のさし方により、自分の気分が分かって聞いてびっくりしました。実際に体験してみると、はさみの持ち方が独特で、持ちにくかったです。今回いけた花はバラで、いけるのが難しかく感じたけれど、講師の先生が分かりやすく教えてくださったので、さす向きや葉の切り方を工夫して、自分でも納得できる作品を作れたのでよかったです。花のいけ方は、はなわたりという一番大きな葉を一番後ろにさして、自分の気に入った花を正面にさせばよいということを基に、自分で工夫しながらいけなければならないということが大切だと分かりました。華道は、自己表現が特に大切だと聞いたので、これから自己表現できるように、私も日本の伝統文化を受け継ぎたいです。



📌 私は、相撲を体験しました。最初に講師の先生のお話を聞いて、相手に対する礼儀作法やスポーツマンシップが、大切なことがさらに分かりました。私は、5年生の時に相撲部に入っていましたが、それからしばらく土俵に上がっていませんでしたので、土俵に上がった時には、少し緊張しました。でも、試合の時は、強気で勝つことができたのでよかったです。相手に対するスポーツマンシップにも気を付けて、試合後に「ありがとう。またしようね。」と声を掛けることができたのでよかったです。私は、部活でサッカーをしています。常に諦めずに前を向いてチームメイト、相手、審判、支えてくれる人に感謝し、スポーツマンシップを忘れず、これからもサッカーを頑張っていこうと思いました。今回の伝統文化体験で、相撲ができてよかったです。よい思い出になりました。講師の先生、ありがとうございました。



※ 先週の個別懇談会、お忙しい中、また猛暑の中、ご来校ありがとうございました。今後とも、本校の教育活動にご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。